

産業能率大学 経営学部

簿記入門	履修年次	1	
	単位	2	
矢島 正、新井 稲二、井田 知孝、北井 不二男、北川 清	配当期	前	
	授業方法	講義/対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>簿記科目は資格取得支援科目であり、前期に「簿記入門」を、後期に「日商簿記検定3級対策講座」を配当し、両者を履修することで日商簿記検定試験3級の合格を目指すための前提科目である。</p> <p>複式簿記は、企業にとって不可欠な計算システムである。簿記は、企業活動を把握して管理・運営するため、また企業の経営内容を外部の利害関係者に適切かつ合理的に伝達するために必要である。簿記の習得は、計算技術の側面が強調されがちであるが、その基本原理は会計学の諸科目の理論的な側面を理解するためにも重要な基礎となる。</p> <p>本講義は、簿記・会計の初心者を対象に商業簿記に関する講義を行なう。簿記の一連の手続きを理解した上で、最終的には日商簿記検定3級レベル(前半部分)の習得をする。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・企業の主要な経済活動を帳簿に記録・計算することができる。 ・帳簿組織を理解し、各帳簿間(主要簿・補助簿)の関係を説明することができる。 ・日商簿記検定の範囲における知識、応用力、スピードと正確性を獲得することができる。 			
成績評価の方法			
授業出席、授業外学習、課題提出および定期試験により、総合的に評価します。			
週	授業項目	週	授業項目
1	簿記の意義、取引と仕訳、勘定と転記	8	手形、電子記録債権(債務)、貸付金、借入金
2	商品売買処理①	9	手形貸付金、手形借入金補助簿の記入(手形記入帳)
3	商品売買取引②補助簿の記入	10	その他の債権債務①
4	現金①(通貨代用証券を含む)	11	その他の債権債務②
5	現金②補助簿の記入	12	その他の費用
6	預金①(普通預金など)、小口現金	13	貸倒れと貸倒引当金
7	預金②補助簿の記入	14	有形固定資産の取得と減価償却